

# Structure Kansai No.134 2017.7

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

## 2017年度(一社)日本建築構造技術者協会関西支部支部総会 5月19日開催



支部総会



山浦支部長の挨拶



関西支部 支部長

「支部長就任にあたって」  
株安井建築設計事務所  
山浦 晋弘

このたび、JSCA関西支部長という大役を務めることになりました。支部設立以降35年間にわたり、8名の支部長が構造設計者の地位向上、JSCAの発展に尽力され、その後を引継ぐのは身の引き締まる思いがいたします。

JSCAは、構造設計者個人が質の高い建築物を社会に提供しようと集まって、自身のスキルを磨く場所でもあり、自発性が求められます。社会の信頼を失うのは一瞬ですが、得るためには毎日の地道な活動が欠かせません。

関西支部には「大震研」活動を始め、「伝統構法を生かす木造耐震設計マニュアル」「建築構造用語事典」「若手技術者育成講座」など多くの財産があり、さらに展開させていこうと考えています。

また、長周期地震動対策など私たちが積極的に関与すべき問題が山積する一方で、自身の働き方改革も進めていかなければならない状況にあります。本部や他支部との連携、交流を図りながら、関西支部のネットワークの軽さを活かして会員の皆さまと一緒に汗をかこうと思います。では2年間、どうぞよろしくお願いいたします。



関西支部 副支部長

「副支部長就任にあたって」  
株大林組  
嶋崎 敦志

このたびJSCA関西支部の副支部長を務めることになりました嶋崎です。1996年の日米構造設計協議会での発表を機にJSCAに入会して、20年以上が経過しました。その間、支部での構造計画分科会や広報委員会での活動を通して、JSCAにお世話になっており、ここ4年間は支部の事務局長として各委員会の活動をサポートさせて頂きました。

会員の皆様におかれましては、JSCAから情報を得るだけでなく、各分科会や研修視察などの行事にも参加して頂いて、会員としての特典をフルに享受させて頂きたいと考えています。

支部総会において新体制が承認されてから1か月が過ぎようとしています。新体制は既に活動を開始し、山浦支部長からは、熱いメッセージが次から次へ支部の幹部に投げかけられています。梶田副支部長をはじめ、各委員会の委員長と共に、新支部長の熱い思いに応える所存です。4年間の事務局長としての経験を活かして、支部活動を盛り上げていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



関西支部 副支部長

「志を引き継いで」  
有桃李舎  
梶田 洋子

このたび副支部長に選任されました梶田です。よろしくお願い致します。

関西支部の支部長と副支部長の3つのポジションは、総合設計事務所、ゼネコン、構造設計事務所が持ちまわりで担っています。私は横田友行さんから構造事務所枠を引き継ぎました。このコラムは年2回です。横田さんは構造事務所に在籍する技術者の視点でメッセージを発信されました。私も真似たいと思います。

この6月までの2年間、月1回、本部理事として本部と支部の両方の運営会議に出席しJSCAがどのように運営されているのかがよくわかりました。この経験を生かし、これからの2年間は山浦支部長を支えて、支部活動に力を尽くします。

関西支部の運営は、支部長をはじめ各委員会の委員長が中心になって話し合いながら行われています。会員のために何が出来るかを考え、イベントを企画する場合はワーキングメンバーを募って準備します。JSCAはこのように志ある会員が日常業務の傍らボランティアで支えています。構造家懇談会関西支部の創設から今日まで、職能集団を支えて来られた先輩方の志を受け継いでがんばります。

■JSCA関西構造デザイン発表会2017  
優秀賞の紹介  
浮遊する人工大地と魅力的な  
執務空間を実現する構造デザイン



「日亜化学工業  
諏訪技術センター」  
(株)竹中工務店  
佐々木 淳一

1. 作品概要

諏訪湖を一望できる魅力的な執務空間を有する技術センター。

構造躯体で構築した人工大地により執務室を浮遊させることで、周囲の豊かな自然環境を室内に取り入れると同時に、先進的な企業イメージをアピールする外観デザインとしている。(写1)

2. 人工大地の構築

8本の柱で構成するRCコアを建物東西に1つずつ配置し、2階レベルで接続することで人工大地を構築した。各コアは柱・梁の部材寸法を統一した純ラーメン構造のRC造とし、フレキシビリティと剛性・耐力を確保した。

2階レベルで2つのコアを接続する梁スパンを28.8m、コアから東西への跳出しを6.4mとしてダイナミックな躯体を魅せることで、浮遊感を表現した。

28.8mスパンは、2つのコアから2.2m跳出したPC梁をピン接合の鉄骨梁で接続するゲルバー梁として実現した。軽量の鉄骨梁で躯体断面を最小化しつつ、端部にPC梁を組合せることで剛性を高め、執務室としての居住性を満足させた。

建物両妻面の6.4m跳出しは、3.2mの跳出しPC梁と、逆梁形式で一体化したハーフ



写1 建物全景

PCaボイドスラブの組合わせで構築した。逆梁形式とすることで、スラブ下面は打放スラブとする意匠を、上面は床下空調の設備計画を、そして6.4mの跳出しスラブと見える構造デザインをそれぞれ実現した。

(図1、写2)

3. 開放的な執務空間の構築

人工大地上部の執務空間は、ブレース付きラーメン構造のS造とし、部材断面の最小化と下部躯体の負担荷重低減を図った。また、純ラーメンRC造とブレース付S造の組合せにより建物全体の剛性をバランスさせた。

水平ブレースで屋根面剛性を確保し、下部躯体のコア位置に合わせて「J」型に集約配置した鉛直ブレースで水平力を100%負担させた。執務空間の柱は長期柱として柱径φ139.8に統一し、開放的な空間を実現した。(写3)

4. まとめ

様々な構造種別を適材適所に組み合わせることで、豊かな研究環境の構築と、周辺地域に対する企業アピールを両立できるシンボリックな作品を実現した。



写2 6.4m跳出部外観



写3 執務室内観

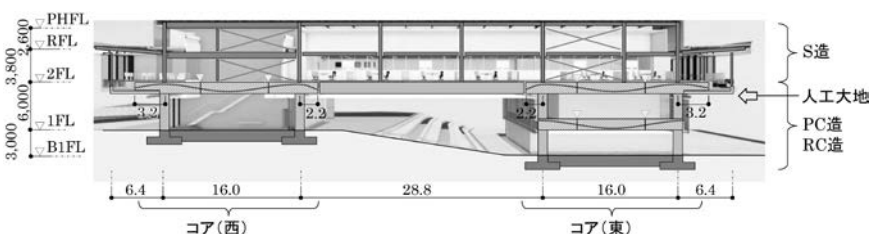


図1 建物断面パース

■JSCA関西構造デザイン発表会2017  
優秀賞の紹介  
配筋不要・型枠不要のフーチング  
「竹中コンパクトパイルキャップ®」の開発



(株)竹中工務店  
高山 秀俊

1. CFT状のフーチングの開発

少子高齢化に伴い、建設技能労働者の不足は深刻さを増しており、省人化施工技術の開発が急務となっている。特に基礎工事は、躯体工事に要する作業員が多いため、これまでPCa化工法により省人化施工を実現したプロジェクトもあるが、部材重量が重いことから、運搬、揚重等の課題がある。

そこで基礎梁をS造、杭頭のフーチングをCFT状にすることで、省人化と軽量化の両立を図った(写真1)。このCFT状のフーチングは「竹中コンパクトパイルキャップ®」と命名し開発を行ったので、ここに紹介する。

2. 施工手順

竹中コンパクトパイルキャップ®を構築するための施工手順を図1に示す。既製杭打設完了後、円形鋼管が溶接された0節鉄骨を建方し、上からコンクリートを打設するだけで構築が完了する。

0節鉄骨は、地上部と同様の柱梁接合部に、竹中コンパクトパイルキャップ®用の円形鋼管を柱芯＝鋼管芯となる位置に溶接したものである。円形鋼管は、構造部材としての役割の他に、型枠としての役割に加え、建方用鉄骨という役割も兼ねる。杭芯ずれも杭径と鋼管径の寸法差で吸収できる。

3. 74%の省人化・50%の工期短縮を実現\*

写真2は、竹中コンパクトパイルキャップ®を用いた基礎工事状況である。S造基礎梁とし、フーチングにも型枠・配筋が不要なため、まるでS造建物の地上階工事状況のようであり、RC造工事はほとんど行われていない。写真2のプロジェクトでは、杭頭18箇所すべての竹中コンパクトパイルキャップ®を採用し、基礎工事において以下の成果を得た。

- ①建設技能労働者の74%を削減\*
- ②50%の工期短縮\*(図2)

\*RC造(在来)フーチングとの比較



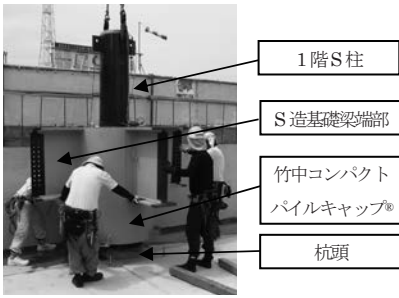


写真1 基礎(0節)建方状況

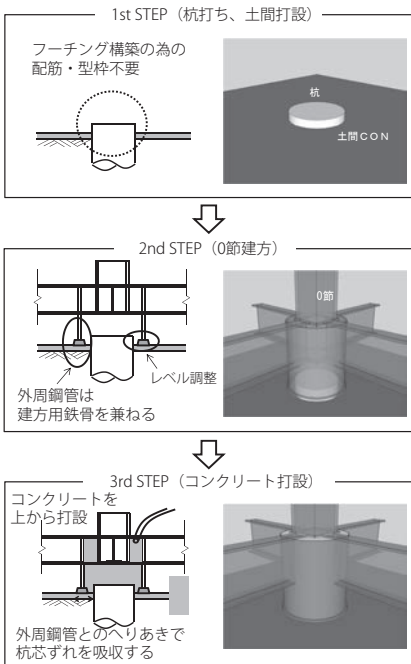


図1 施工手順



写真2 基礎工事状況

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
RC フーチング																
竹中 パイル コンパクト																
RC フーチング																
竹中 パイル コンパクト																

図2 工程比較

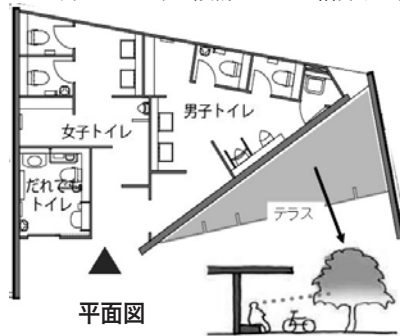
■JSCA関西構造デザイン発表会2017  
優秀賞の紹介  
6枚の大版CLTで建築を作る  
「木テラス」@真庭市  
有桃李舎  
梶田 洋子

1. はじめに



竣工写真

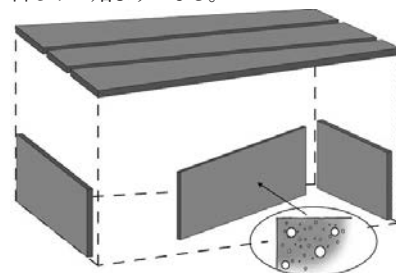
真庭市の設計プロポーザルで選定されたCLTのモデル建築である。駅前の公衆トイレで、サイクリングステーションでもある。意匠設計はofaの小原賢一氏と深川礼子氏。斜め正面に立派な桜の樹があるので、大きな庇の下に人がゆったりと居心地よく過ごせる木のテラスを設けている。間仕切り、ベンチなど全てCLTで、大きな家具を組み立てるように作った。初挑戦したCLTを設計期間1.5ヶ月でどのように設計したかを紹介する。



平面図

2. 構造の基本計画

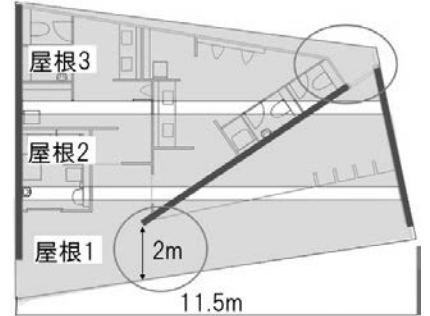
最小枚数の「3枚の壁」で、CLTの制作の最大寸法である3m×12mの「3枚の屋根」を支えるシンプルな計画である。壁にはポーラス状の丸穴が開き、3枚の屋根はトップライトで分断され、レベルが異なっている。プロポーザルなのでどうしても攻める構造になるのだが、取れたときはそれが苦みの始まりになる。



構造の概念図

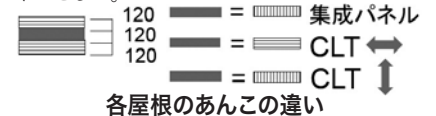
3. 設計者に選ばれて実施設計

いけるとあたりはつけていたが、CLTの解説書を精読すると壁も床も仕様規定から外れる。なんとカルート2としたが、材料強度と剛性は製材に比べて小さく、特に弱軸方向が極端に小さい。屋根1は2mの跳ね出しになるので、弱軸の曲げ剛性が小さいとたわみが大きい。屋根2は2連続梁になるが、屋根3はスパン約10mの単純梁で○部のせん断がきつい。



3枚の屋根の特徴

そこで屋根は120mmのCLTを3枚重ねて360mmとした。上と下のCLTは長手方向に強軸である。真ん中の「あんこ」を各屋根で変えた。屋根1はCLTを直交させ、屋根2は上下と平行、屋根3は強度のある集成パネルとした。



屋根は格子梁で解析したが、剛床仮定が成立しないので、短期の設計は、有限要素法による立体解析を行っている。

4. 施工

CLTどうしは2枚までボンドで接着できる。2枚目と3枚目は栗のダボとラグスクリューで接合した。その際に配線のための溝彫りを行っている。組み立てはレッカーを使って半日で完了した。



CLTの工場加工 (銘建工業にて)

5. おわりに

初CLTの印象を述べる。材料的には上等ではない。しかし新鮮な感覚で木造の計画ができる。ポリウムをたっぷり使って、少々削っても、くり抜いてもOKというタフな使い方が向いている。初挑戦でも怯まなかったのは過去の当会で発表を聞いたからだ。恩返して報告した。

## 『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』

日本建築学会 講習会報告



(株)イオリ建築設計事務所  
平石 浩二

### 1.はじめに

日本建築学会の『鋼構造柱脚設計施工ガイドブック』講習会が2017年3月1日(水)に大阪科学技術センターにおいて、開催された。当日は100名を超える多くの方の参加があった。

### 2.講習会の概要

講習会では、大きく6つのテーマについて講演が行われました。

#### ■柱脚の基本、アンカーボルト

宇都宮大学 増田浩志 先生

#### ■設計：露出柱脚

#### ■柱脚の被害

東京工業大学 吉敷祥一 先生

#### ■設計：根巻き柱脚

#### ■設計：埋込み柱脚

神戸大学 浅田勇人 先生

#### ■施工

日建設計 軸丸久司 氏

講習の内容は、多岐に渡ったため、代表的な内容を以下に報告する。

### 3.柱脚の基本、アンカーボルト

#### (1)背景

鋼構造建築物の柱脚として系統的に設計法がまとめられたのは、『鋼管構造設計施工指針』である。この指針で示された設計の考え方が『鋼構造限界状態設計指針』、『鋼構造接合部設計指針』、『鋼構造設計規準』へ引き継がれている。

一方、柱脚施工については、『建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事』、『鉄骨工事技術指針・工事現場施工編』に示されている。

本書では、対象を鋼構造建築物における柱脚に特化して、設計法、施工を解説するものである。

#### (2)はじめに

柱脚の形式(露出柱脚、根巻き柱脚、

埋込み柱脚)による『柱脚』の定義が示されている。

#### (3)柱脚形式と特徴

各柱脚の剛性と耐力の評価位置、柱脚の代表的な終局状態、柱脚形式と特徴が示されている。

#### (4)柱脚設計の考え方

柱脚設計として、終局状態に塑性化させる部分として、2種類の考え方がある。

- ・柱ヒンジ型：鋼柱下部を塑性化させる
- ・柱脚ヒンジ型：柱脚を塑性化させる

#### (5)柱軸力の影響

鋼柱と露出柱脚のM-N相関曲線に対する軸力の影響について示されている。

#### (6)アンカーボルト

アンカーボルトのねじ部の破断および軸部の伸びの様子、アンカーボルトのねじ形状(切削ねじ、転造ねじ)、構造用両ねじアンカーボルト(ABR、ABM)が示されている。

### 4.設計：露出柱脚

#### (1)設計の基本

柱脚部の設計フローにより、柱脚ヒンジ型、柱ヒンジ型の設計が示されている。

#### (2)剛性

一般に固定とピンの中間的な半固定に相当する回転剛性を有する。

回転剛性の実験式とアンカーボルトの軸剛性に基づく理論式との違いについて示されている。

#### (3)耐力

曲げ耐力、せん断耐力、軸方向耐力について示されている。

### 5.設計：根巻き柱脚

#### (1)設計の基本

〔設計における留意事項〕を満足すれば露出柱脚よりも高い耐力・剛性を実現可能である。

#### (2)剛性

〔設計における留意事項〕を満足すればベースプレート下面を固定として評価できる。

#### (3)応力伝達の考え方

鋼柱の応力は、根巻き鉄筋コンクリート部において鋼柱と根巻き鉄筋コンクリ

ート間に作用する支圧力、付着力および摩擦力によって伝達される。

### 6.設計：埋込み柱脚

#### (1)設計の基本

剛性および耐力を確保しやすく、鋼柱側に塑性ヒンジを設定できる。

柱の建込み精度を厳しく管理する必要がある。

#### (2)剛性

基礎コンクリート上端から柱せいの1.5倍下がった位置を固定として評価できる。

#### (3)耐力

側柱柱脚でのパンチングシヤー破壊の補強例が示されている。

### 7.施工

#### (1)アンカーボルトを用いた柱脚の施工

構造用アンカーボルトの据え付け保持方法、ベースモルタルの施工が示されている。

#### (2)柱脚の施工

露出柱脚、根巻き柱脚、埋込み柱脚について、柱脚施工の特徴、施工の手順と解説、施工に配慮した設計上の留意点が示されている。

### 8.柱脚の被害

露出柱脚の被害例

根巻き柱脚

埋込み柱脚の被害例

置屋根定着部の被害例

施工・管理の不具合事例

地震被害を受けた柱脚の補修が示されている。



### 9.さいごに

柱脚に特化して力学挙動と設計法の関わり、併せて施工上の留意点について知ることができ、とても有意義な講習会であった。

## ■JSCA関西支部2016年度事業報告書

(2016年4月～2017年3月)

- 1.2016年度支部総会 5/19 建設交流館 出席者64名(委任状302通)
- 2.支部幹事会 5/10, 11/8
- 3.四役会 4/7, 5/10, 6/13, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/8, 12/6, 1/10, 2/7, 3/7
- 4.事業委員会 4/28, 6/13, 6/27, 7/13, 8/1, 9/2, 9/29, 10/17, 11/30
- 5.技術委員会 4/25, 6/27, 8/25, 10/24, 12/19, 2/27
- 6.広報委員会 4/14, 7/11, 10/18, 1/19
- 7.耐震診断・補強判定委員会関西支部 5/26, 6/16, 7/21, 9/15, 10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/16
- 8.木造住宅レビュー委員会 4/6, 6/1, 6/17, 8/3, 12/7, 1/24
- 9.定例研究会 5/19 建設交流館「JSCA関西構造デザイン発表会2016」参加者205名
- 10.大震研委員会
  - ・2015年度第2回報告会 4/23
  - ・2016年度第1回報告会 10/8
  - ・大震研委員会主査連絡会 1/19, 2/15, 3/22
  - ・WG活動 WG1 4/22, 6/3, 9/23, 12/19, 3/27  
WG2 4/11, 7/20, 9/20, 12/13, 1/27, 3/24  
WG3 6/14, 8/2, 9/21, 11/16, 1/25, 3/27  
WG4 4/4, 5/16, 6/13, 7/11, 8/8, 9/5, 10/24, 11/21, 12/9, 1/16, 2/20, 3/21
- 11.現場見学会
  - 10/4 大阪市北区中之島6丁目計画現場見学 参加者37名
  - 1/26 (仮称)新南海会館ビル建設工事現場見学 参加者21名
- 12.視察研修 11/10～11 東海地方で伝統技術と先端技術を学ぶ 参加者32名
- 13.支部報 Structure Kansai No.129, 130, 131, 132 発行
- 14.技術委員会各分科会
  - ・地盤系分科会 6/22, 9/29, 12/14
  - ・RC分科会 7/15, 10/27, 1/27
  - ・金属系分科会 5/24, 10/20, 3/9
  - ・耐震設計分科会 6/17, 9/27, 1/27, 2/10
  - ・PC・工業化分科会 8/10, 12/5
  - ・木構造分科会 4/6, 6/1, 8/3, 10/5, 2/1
  - ・法制分科会 4/19, 6/21, 7/20, 9/1, 10/21, 12/6, 2/14
  - ・構造計画分科会 4/12, 7/12, 10/18, 1/24
  - ・情報システム分科会 4/8, 10/21
- 15.サテライト活動
  - ・奈良会 2/3 天理駅前広場空間整備工事「コフン」現場見学会 参加者21名
  - ・京滋会 3/10 滋賀県立大学教授 陶器浩一先生の講演会 参加者18名
- 16.定期講習会
  - ・7/2 大阪科学技術センター中ホール「素材と設計・実現象 コンクリート 鉄木土」参加者89名
- 17.講習会
  - ・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」 4/3, 6/1, 8/3, 10/5, 12/7, 2/1 10/11 参加者 25名
  - ・スキルアップセミナー 9/27 参加者 16名
  - ・本部技術委員会・第10回報告会2016(web講習会) 10/5 参加者 11名
  - ・本部技術委員会・第11回報告会2016(web講習会) 11/30 参加者 21名
  - ・本部基礎地盤系部会・報告会2016(web講習会) 11/30 参加者 21名
  - ・構造設計賠償責任保険説明会 10/3 参加者 7名
  - ・「若手技術者育成講座」 2/8 参加者 18名
  - ・JSCA実務者研修「基礎編」 2/14-15 参加者 21名
- 18.親睦会
  - ・定例研究会懇親会 5/19 参加者 133名
  - ・大震研懇親会 4/3, 10/8 参加者 18名
  - ・賀詞交歓会 1/13 参加者 100名
  - ・京滋会懇親会 3/10 参加者 12名
  - ・奈良会懇親会 2/3 参加者 10名
- 19.研究受託
  - ・大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務
- 20.他団体への委員・講師の派遣  
委員派遣
  - ・大阪府「大阪府耐震改修促進計画審議会」 横田友行
  - ・大阪市「大阪市耐震改修支援機構」 上田尚延, 小倉正恒, 野島千里, 横田友行
  - ・京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」 榎原健一, 田村佳英
  - ・神戸市「耐震改修検討委員会」 瀬川輝夫, 山田正人
  - ・神戸市「建築物安全安心推進協議会」 石本泰宏
  - ・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」 近藤一雄, 田代靖彦, 山浦晋弘
  - ・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之
  - ・日本建築総合試験所「判定助言委員会」

- 小倉正恒, 近藤一雄, 西村勝尚, 前野敏元, 横田友行, 吉澤幹夫
- ・日本建築総合試験所「建築技術性能認証委員会」 後藤雅夫
- ・日本建築総合試験所「コンクリート工事実務研修委員会」 上森 博
- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 小倉正恒
- ・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行
- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正
- ・兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」 山田正人
- ・大阪工業大学「専門委員会」 横田友行
- ・泉大津市「上條小学校3号館耐震補強設計に係る第三者委員会」 小倉正恒

### 講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会」 福本義之
- ・大阪府建築士会「木造建築の構造設計・耐震診断・耐震補強設計の事例紹介」 石田健吾, 内田利恵子, 榎原健一, 田村佳英, 野島千里, 横田友行
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 小倉正恒, 北山宏貴, 鈴木直幹, 横田友行
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」 野島千里, 横田友行
- ・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 榎原健一, 横田友行
- ・尼崎市「建築技術研修会」 熊野豪人, 西崎隆氏, 増田寛之

### 21.関連団体との交流

- ・在阪建築関連15団体事務局会議 9/15, 3/14
- ・在阪建築関連15団体会長・支部長午餐会 10/25
- ・在阪建築関連15団体2017年新年交礼会 1/4

## ■JSCA関西支部2017年度事業計画書(案)

(2017年4月～2018年3月)

- 1.2017年度支部総会 5/19 建設交流館グリーンホール
- 2.支部幹事会 5/9, 秋頃実施予定
- 3.四役会 4/4, 5/9, 6/5, 7/3, 8/7, 9/4, 随時
- 4.事業委員会 4/19, 随時
- 5.技術委員会 4/24, 以降1回/2ヶ月 実施予定
- 6.広報委員会 4/20, 以降1回/各季 程度
- 7.大震研委員会 2016年度第2回報告会4/15, 随時実施予定
- 8.構造レビュー委員会 随時実施予定
- 9.木造住宅レビュー委員会 4/5, 以降随時実施予定
- 10.耐震診断・補強判定委員会関西支部 4/20, 1回/月 実施予定
- 11.定例研究会 5/19 建設交流館グリーンホール
- 12.新年研究会 1月 実施予定
- 13.現場見学会 随時実施予定
- 14.視察研修 11/10-11 実施予定
- 15.支部報 Structure Kansai No.133, 134, 135, 136 発行予定
- 16.技術委員会各分科会
  - ・地盤系分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・RC分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・金属系分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・情報システム分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・耐震設計分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・PC・工業化分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・構造計画分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・木構造分科会 6回/年 程度実施予定
  - ・法制分科会 6回/年 程度実施予定
- 17.技術委員会拡大分科会
  - ・各分科会により1回/年 程度実施予定
- 18.サテライト活動
  - ・奈良会 1回/年 程度実施予定
  - ・京滋会 1回/年 程度実施予定
  - ・兵庫会 1回/年 程度実施予定
- 19.賛助会員技術交流会 随時実施予定
- 20.講習会
  - ・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」 4/5, 以降随時実施予定
  - ・「定期講習会」 8月 実施予定
  - ・「若手技術者育成講座」 2月 実施予定
  - ・「スキルアップセミナー」 夏頃 実施予定
- 21.JSCA関西35周年記念事業 秋頃 実施予定
- 22.親睦会
  - ・支部総会懇親会 5/19 建設交流館
  - ・大震研懇親会 4/15, 随時実施予定
  - ・賀詞交歓会 1月 実施予定
  - ・京滋会懇親会 秋頃 実施予定
  - ・奈良会懇親 秋頃 実施予定



23.研究受託

・大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務

24.他団体への委員・講師の派遣

委員派遣

- ・大阪市「大阪市耐震改修支援機構」
上田尚延,山浦晋弘,野島千里,横田友行
・神戸市「耐震改修検討委員会」 瀬川輝夫,山田正人
・神戸市「建築物安全安心推進協議会」 石本泰宏
・京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」 榎原健一,田村佳英
・日本建築総合試験所「判定助言委員会」
近藤一雄,島野幸弘,田邊太一,田代靖彦,西村勝尚,山浦晋弘
・日本建築総合試験所「建築構造的な性能評価委員会」
近藤一雄,田代靖彦,山浦晋弘
・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之
・日本建築総合試験所「建築技術性能認証委員会」 後藤雅夫
・日本建築総合試験所「コンクリート工事実務研修委員会」 上森 博
・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 山浦晋弘
・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議委員会」 横田友行

- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」
・兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」
・大阪工業大学「専門委員会」

中森康正
山田正人
横田友行

講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会」 福本義之
・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 小倉正恒,北山宏貴,鈴木直幹,横田友行
・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」 野島千里,横田友行
・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 榎原健一,横田友行
・尼崎市「建築技術研修会」 未定
25.関連団体との交流
・在阪建築関連15団体事務局会議 9月頃,3月頃
・在阪建築関連15団体会長・支部長午餐会 秋頃
・在阪建築関連15団体2018年新年交礼会 1/4

■2017年度支部役員及び委員

●幹事

- 支部長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所):支部担当理事
副支部長 嶋崎敦志 (大林組)
榎田洋子 (桃李舎)
幹事 上田博之 (竹中工務店):本部担当理事
上森博 (日本設計)
太原克則 (東畑建築事務所)
小倉正恒 (清水建設)
島野幸弘 (竹中工務店)
田代靖彦 (日本設計)
竹島剛 (鹿島建設)
田邊太一 (鴻池組)
寺村均 (昭和設計)
西村勝尚 (大林組)
細野久幸 (SDネットワーク)
松浦敏彦 (ティエムアーク)
満田衛資 (満田衛資構造計画研究所)
宮崎英一 (大成建設)
横田友行 (能勢建築構造研究所)

監査

- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
辻幸二 (日本建築総合試験所)

支部顧問

- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
角彰 (日本建築総合試験所)
谷尾俊弘 (イオリ建築設計事務所)
辻英一 (安井建築設計事務所)
馬瀬芳知 (馬瀬構造設計事務所)
八木貞樹 (八木建築構造研究所)

事務局

- 秋田智 (安井建築設計事務所) 局長
伊藤敦 (日本設計)
伊藤祥二 (大林組)
岩佐裕一 (日本建築総合試験所)
大植奈緒子 (コンステック)
貝谷淳一 (能勢建築構造研究所)
木下隆嗣 (東畑建築事務所)
九嶋壮一郎 (竹中工務店)
竹内信一郎 (清水建設)
石原邦子 (JSCA大阪事務所)

●事業委員会

- 委員長 島野幸弘 (竹中工務店)
委員 上森博 (日本設計)
小島直樹 (清水建設)
塚治夫 (日本設計)
富澤健 (大林組)
宮崎英也 (山田建築構造事務所)
山崎英一 (大成建設)
山本康一郎 (能勢建築構造研究所)

●技術委員会

- 委員長 田邊太一 (鴻池組)
委員 山下靖彦 (竹中工務店) ...RC
前川元伸 (竹中工務店) ...PC:工業化
中村吉秀 (大林組) ...金属系
石川三 (日本設計) ...耐震設計
川口正人 (清水建設) ...地盤系
篠原昌寿 (フレームワークス) ...情報システム
松原由典 (竹中工務店) ...構造計画
岸光平 (竹中工務店) ...法制
上田尚延 (日本建築総合試験所) ...木構造

●広報委員会

- 委員長 田代靖彦 (日本設計)
委員 秋智 (安井建築設計事務所)
慶祐一 (竹中工務店)
大川正明 (鹿島建設)
金丸興司 (K&S構造設計事務所)
軸久二 (日本設計)
田邊太一 (鴻池組)
中村篤明 (北條建築構造研究所)
橋本浩二 (イオリ建築設計事務所)
柳沢信行 (竹中工務店)
山田細香 (山田建築構造事務所)
吉田能功 (大林組)
吉田聡 (日本設計)

●構造レビュー委員会

- 委員長 安井雅明 (大林組)
委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
浦巽利男 (うらたつみ建築技研)
小倉正恒 (清水建設)
榎原健一 (SERB)
日下哲 (竹中工務店)
近藤一雄 (東畑建築事務所)
嶋崎敦志 (大林組)
新保勝浩 (ネオフォルム構造技研)
角辻幸彰 (日本建築総合試験所)
前野敏元 (日本建築総合試験所)
榎田洋子 (竹中工務店)
宮崎英也 (桃李舎)
八木貞樹 (山田建築構造事務所)
山浦晋弘 (八木建築構造研究所)
横田友行 (安井建築設計事務所)
横田友行 (能勢建築構造研究所)

●木造住宅レビュー委員会

- 委員長 横田友行 (能勢建築構造研究所)
委員 石田健吾 (コングロエンジニアリング)
内田利恵子 (建築設計室Morizo-)
上田尚延 (日本建築総合試験所)
大崎修 (大崎建築設計事務所)
小倉正恒 (清水建設)
榎原健一 (SERB)
北山宏貴 (大林組)

- 鈴木直幹 (竹中工務店)
田村佳英 (悠計画研究所)
鳥羽瀨公二 (鳥羽瀬社建築)
野島千里 (野島建築設計事務所)
榎田洋子 (桃李舎)

●大震災委員会

- 委員長 西村勝尚 (大林組)
委員 園田隆一 (安井建築設計事務所) ...WG1
上田博之 (竹中工務店) ...WG2
福本義之 (大林組) ...WG3
大住和正 (大林組) ...WG4

●危機管理委員会

- 委員長 前野敏元 (竹中工務店)
委員 小倉正恒 (清水建設)
嶋崎敦志 (大林組)

●定期講習WG

- 嶋崎敦志 (大林組)
鈴木直幹 (竹中工務店)

●耐震診断委員会関西西部会

- 部会長 安井雅明 (大林組)
副部会長 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
浦巽利男 (うらたつみ建築技研)
小倉正恒 (清水建設)
榎原健一 (SERB)
日下哲 (竹中工務店)
近藤一雄 (東畑建築事務所)
嶋崎敦志 (大林組)
辻幸二 (日本建築総合試験所)
原克己 (元 摂南大学)
前野敏元 (竹中工務店)
峯隆俊 (峯構造技術研究室)
八木貞樹 (八木建築構造研究所)
山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
横田友行 (能勢建築構造研究所)

●編集委員会関西西部会

- 部会長 白沢吉衛 (日本設計)
委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
新井康輔 (能勢建築構造研究所)
大堀太志 (竹中工務店)
小倉正恒 (清水建設)
小邊太一 (鴻池組)
富澤健 (大林組)
山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
山崎英一 (大成建設)

●国際委員会(本部)

- 委員 嶋崎敦志 (大林組)



## ●事務局だより

### 1.2017年度支部総会

日時:5月19日(金)13:30~14:30

場所:建設交流館

人数:72名(委任状279通)

### 2.幹事会

日時:5月9日(火)18:00~19:30

場所:安田ビル地下会議室

### 3.四役会

日時:4月4日(火)18:00~19:30

場所:安田ビル2階JSCA関西事務局

日時:5月9日(火)18:00~19:30

場所:安田ビル2階JSCA関西事務局

日時:6月5日(月)18:00~19:30

場所:安田ビル2階JSCA関西事務局

### 4.事業委員会

日時:4月19日(水)18:00~19:30

場所:安田ビル2階JSCA関西事務局

### 5.技術委員会

日時:4月24日(月)18:00~19:00

場所:安田ビル2階JSCA関西事務局

内容:デザイン発表会実施打合せ等

日時:6月26日(月)18:00~19:00(予定)

場所:安田ビル2階JSCA関西事務局

内容:活動方針打合わせ等

### 6.広報委員会

日時:4月20日(木)18:00~19:00

場所:日建設計B2会議室

内容:Structure Kansai No.134号

編集会議

Structure Kansai No.135号

企画会議

日時:7月20日(木)18:00~19:00(予定)

場所:日建設計B2会議室

内容:Structure Kansai No.135号

編集会議

Structure Kansai No.136号

企画会議

### 7.耐震診断・補強判定委員会関西部会

日時:4月20日(木)18:00~19:30

場所:安田ビル地階会議室

内容:耐震診断・補強計画判定の報告

日時:7月20日(木)18:00~20:00(予定)

場所:安田ビル地階会議室

内容:耐震診断・補強計画判定の報告

### 8.木造住宅レビュー委員会

日時:4月5日(水)17:30~18:30

場所:安田ビル2階会議室

内容:大阪府建築士会主催講習会の講師選任について

### 9.大震研委員会

○関西地区における長周期地震動対策に関する国交省ヒアリング

日時:5月10日(水)13:00~16:00

場所:国土交通省

内容:関西地域における告示波を超える長周期地震動に対する検証法

○大震研委員会主査連絡会

日時:5月31日(水)18:00~19:30

場所:安田ビル2階会議室

内容:長周期地震動に対する検証法について

○WG1(地震動・基礎)

日時:6月23日(金)18:00~20:00(予定)

場所:安田ビル2階会議室

内容:活動報告会

○WG2(RC系)

日時:3月24日(金)18:00~19:30

場所:安田ビル2F会議室

内容:長周期地震動対策としての対応ほか

○WG3(S系) 活動なし

○WG4(免震構造)

日時:2月20日(月)18:00~20:00

場所:竹中工務店 大阪403会議室

東京7C会議室(TV会議)

内容:エネルギーの釣合を考慮した静的な衝突設計

免震擁壁との衝突ばねの設定方法  
A5ゾーンの上町、生駒地震動の免震建物応答比較

日時:3月21日(月)18:00~20:00

場所:竹中工務店 大阪403会議室

東京7C会議室(TV会議)

内容:免震擁壁との衝突ばねの設定方法  
4/15報告会資料について  
長周期地震動(技術的助言)に対する設計法提案

日時:4月3日(月)18:00~20:00

場所:竹中工務店 大阪403会議室

東京7C会議室(TV会議)

内容:4/15報告会資料について  
長周期地震動(技術的助言)に対する設計法提案

### 10.支部報

Structure Kansai

No.133(2017.4)発行

No.134(2017.7)発行(予定)

### 11.技術委員会各分科会

○地盤系分科会

日時:3月13日(月)18:00~19:30

場所:(株)コンステック会議室

内容:「パイルドラフト基礎建物の事後解析の紹介」

「杭支持建物のモニタリング技術

検証のための振動台実験」見学報告

日時:6月21日(水)15:00~17:00(予定)

場所:日本ヒューム株式会社尼崎工場

内容:「PC杭製作工場見学」

○RC分科会

日時:5月26日(金)18:00~19:30

場所:安田ビル地階会議室

内容:「主査交代について」

「今後のRC分科会の方針についての議論」

○金属系分科会

日時:3月9日(木)14:00~16:00

場所:「梅田1丁目1番地計画」

現場見学会

○耐震設計分科会 活動なし

○PC・工業化分科会

日時:4月17日(月)18:00~19:30

場所:竹中工務店B1階T'sイノベーションサロン

内容:PCIコンベンションについて

○木構造分科会

日時:4月5日(水)18:30~20:45

場所:安田ビル地階会議室

内容:「最近の動向」

「寺院・仏塔について」

○法制分科会

日時:4月18日(火)15:00~17:00

場所:安井建築設計事務所

内容:コストコ高裁判決

4号建築物特例

久留米市の分譲マンション裁判  
建築法制に関する最新情報紹介と意見交換

日時:6月20日(火)15:00~17:00(予定)

場所:安井建築設計事務所

内容:建築法制に関する最新情報紹介と意見交換

日時:6月29日(木)17:30~20:30(予定)

場所:安田ビル2階会議室

内容:本部分科会とTV会議

(あるべき姿についての見解、

ピアレビューに関する情報交換)

○構造計画分科会

日時:4月18日(火)15:30~17:00

場所:竹中工務店B1階T'sイノベーションサロン

内容:拡大分科会『テンション構造』勉強会(講師:神鋼鋼線工業株式会社)

日時:7月11日(火)17:30~18:30(予定)

場所:竹中工務店B1階T'sイノベーションサロン

内容:透明感のある5.4mの跳ね出し架構

「KOBELCO麻耶ゲストハウス」

柱型のない内部空間を実現する

構造計画「大光電気株式会社新技術センター」

超高強度繊維補強コンクリート

による軽快な庇(講師:大林組より)

○情報システム分科会 活動なし

12.定例研究会

日時:5月19日(金)14:45~17:45

場所:建設交流館

内容:JSCA関西構造デザイン発表会2017

13.サテライト活動

○京滋会 秋に講演会開催予定

○奈良会 活動なし

14.講習会

○木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会

日時:4月5日(水)13:30~18:00

場所:安田ビル地下会議室

15.懇親会

日時:5月19日(金)18:00~19:30

場所:建設交流館702号

## ●編集後記

ご多忙の中、執筆にご協力頂きました方々に厚く御礼申し上げます。

(編集担当:橋本、山田組)

発行 (一社)日本建築構造技術者協会  
関西支部事務局

〒550-0003

大阪市西区京町堀1-8-31(安田ビル)

Tel 06-6446-6223 Fax 06-6446-6224

Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp

URL http://jscakansai.com/